



平成29年11月9日

岸壁工事大詰め！ 大型ジャケット据付

～「釧路港 水深14m岸壁工事」国内最大級のクレーン船で据え付けます！～

釧路開発建設部では、国際物流ターミナル整備事業（国際バルク戦略港湾）の中核施設である水深14m岸壁を整備中です。今年2月に引き続き、国内最大級の大型クレーン船による「ジャケット（上部工）」の据付作業を下記の日程で行います。なお、本岸壁におけるジャケットの据付作業は今回で最後となります。

釧路港西港区第2ふ頭で整備中の水深14m岸壁は、平成27年度から現地作業を開始し、昨年度までに150m施工し、本年度は残りの150mを施工して完成させる予定です。現在、岸壁の基礎となる鋼管杭の打設がほぼ終わり、下記の日程で鋼管杭上に「※ジャケット構造」の上部工を5基据え付ける作業を実施します。先月末にジャケットの製作が完了し、製作工場から釧路港へ海上運搬を進めており、釧路港到着後、国内最大級の大型クレーン船によって大型ジャケットの据付作業を行うものです。

※ジャケット構造とは

鋼管を立体的に組み立てたトラス構造物で、海底地盤に打ち込んだ杭と一体化させる構造。杭にジャケットを被せた格好が、上に羽織るという意味で「ジャケット」と呼ばれています。

記

作業日時 : 平成29年11月10日（金）10:00～13:00（2基）

平成29年11月13日（月）10:00～11:00（1基）

平成29年11月14日（火）10:00～13:00（2基）

作業内容 : ジャケット構造の上部工据付

その他 : 天候等によって作業日及び時間に変更となる場合があります。

取材を希望される場合は、事前に以下の問合せ先へ連絡ください。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 釧路港湾事務所 電話：0154-51-4381（代表）

副所長 佐藤 浩彰

第1工務課長 鈴木 久孝

釧路開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



釧路港西港区水深14m岸壁ジャケット据付工事概要①

【工事概要】

工事名：釧路港-14m岸壁B部上部建設工事

発注者：北海道開発局 釧路開発建設部

工事内容：施工延長 50.0m [ジャケット製作・運搬・据付2基、現場鋼材溶接・切断1式]

工期：平成29年 2月 9日 ~ 平成30年 1月31日

受注者：五洋建設株式会社 札幌支店

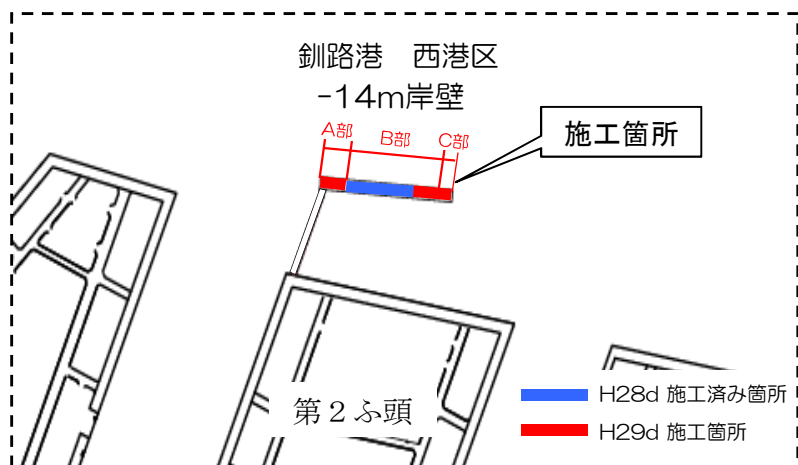
工事名：釧路港西港区-14m岸壁A・C部その他上部工事

発注者：北海道開発局 釧路開発建設部

工事内容：施工延長 75.0m [ジャケット製作・運搬・据付3基、現場鋼材溶接・切断1式]

工期：平成29年 3月31日 ~ 平成30年 2月26日

受注者：みらい建設工業株式会社 北海道支店



ジャケット（1基当り）の規格
 長さ：24.6m
 幅：20.0m
 高さ：14.0m
 重さ：167t

【据付予定日及び時間】

B部 2基	11月10日	10:00~11:00、12:00~13:00
C部 1基	11月13日	10:00~11:00
A部 2基	11月14日	10:00~11:00、12:00~13:00

【※クレーン搭載 据付作業船 仕様】

※ 港湾工事では、重量物を吊上げて移動させる作業船を総称して「起重機船」と呼んでいます。

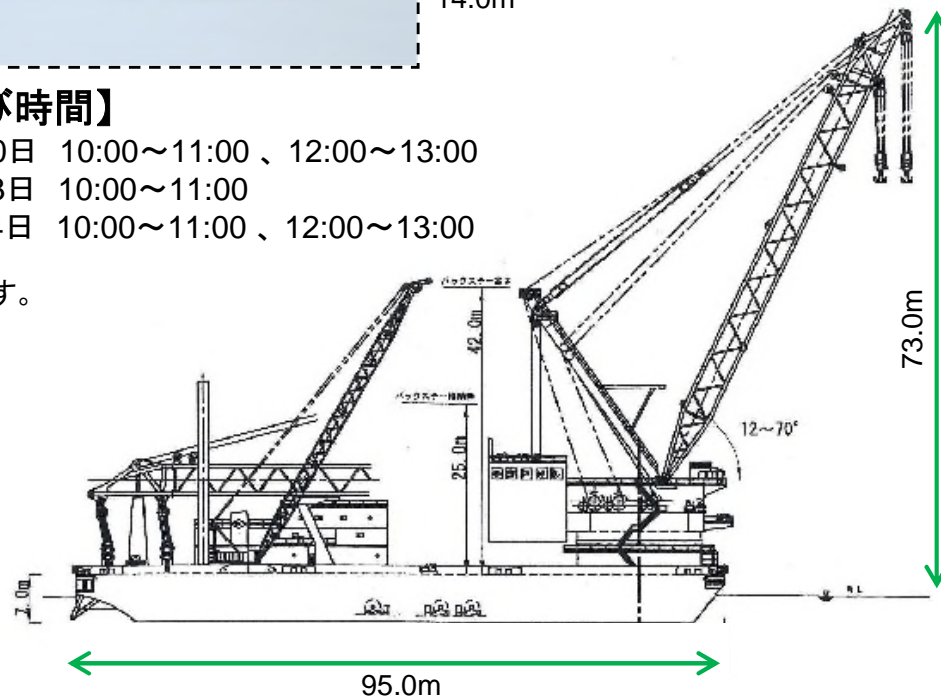
船名：神翔-1600 (しんしょう-1600)

基地港：兵庫県神戸市神戸港 (神戸港~釧路港まで回航)

船体仕様：長さ 95.0m
幅 45.0m

クレーン

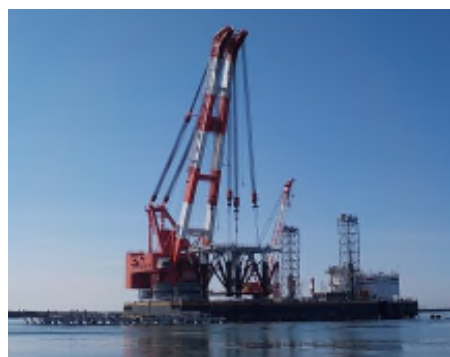
仕様：定格重量 1,600 t
(旋回式では国内最大級)
巻上げ高さ(水面上) 約 73.0m



釧路港西港区水深14m岸壁ジャケット据付工事概要②

【据付作業の流れ】

○平成28年度工事におけるジャケット据付状況



ジャケットを吊上げて設置位置に配置した後、ゆっくりと鋼管杭の上にジャケットを下ろして所定の位置に据え付ける。

○ジャケット据付作業

主な作業フロー

① 積荷固定切断



② 吊ワイヤー設置



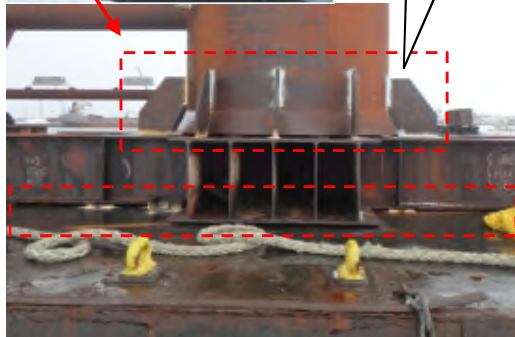
③ ジャケット据付

① 積荷固定切断

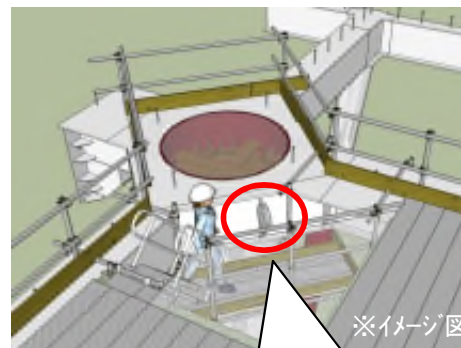
※海上運搬時の荷崩れ防止のため、ジャケットと運搬船を固定済。



溶接固定した箇所を切断

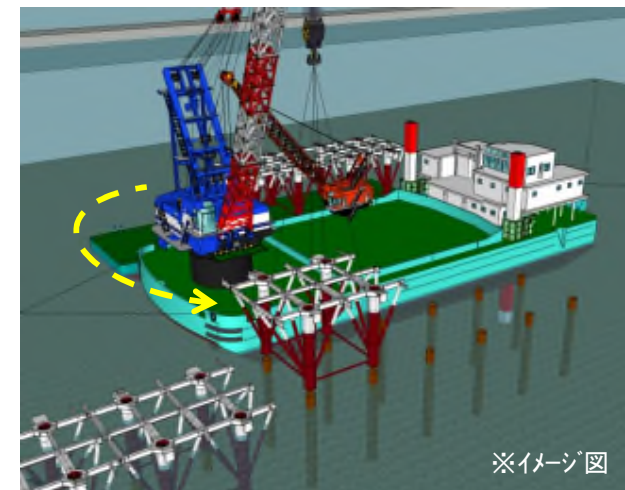


② 吊ワイヤー設置



ジャケットを吊るために必要なワイヤーを吊金具に設置 (ジャケット1基に4箇所)

③ ジャケット据付



- 1) クレーンで運搬船上のジャケットを吊上げ
- 2) クレーンを回転させ、ジャケットを移動
- 3) ジャケットと杭の位置を微調整しながら徐々にジャケットを下ろしていく
- 4) 所定の位置まで下ろしたことを確認後、ワイヤーの取外しを行う

